

## 「HP掲載文」

### 乳癌の再発・転移巣で出現する付加的遺伝子変異の解明

#### 1. 研究の対象

1993年1月1日から2017年2月28日までに当院にて乳癌に対する生検または手術を受けられた方。また、取り出された組織（病理検体）を研究に使用することに書面で同意していただいている方。

#### 2. 研究目的・方法

乳癌の原発巣組織と再発・転移巣組織をともに、遺伝子変異およびコピー数の変化を調べ、各種の臨床病理学的因子との比較解析を施行する。これによって、乳癌の治療抵抗性に関与しうる新規の遺伝子変異パターンを探索する。また、発癌時には生じていなかった遺伝子変異が、どのような条件下で付加的に起こりやすくなるかを検討し、付加的遺伝子変異のメカニズム解明を目指す。

研究期間 2017年4月10日～2019年4月9日

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：乳癌手術で取り出された乳腺や再発巣の組織標本（病理診断に用いた標本）

情報：手術時年齢、病理組織番号等

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

病院名：川崎医科大学附属病院

病院所在地：〒701-0192 岡山県倉敷市松島577

病院電話番号：086-462-1111（内線44339）

電子メール：kanomata\_7@med.kawasaki-m.ac.jp

研究責任者：川崎医科大学 病理学2 准教授 鹿股（かのまた） 直樹

#### 5. 利益相反

この研究課題を実施する関係者には、アストラゼネカ（株）、中外製薬（株）、協和発酵キリン（株）、エーザイ（株）、大鵬薬品工業（株）、日本化薬（株）から奨学寄附金の受け入れ、および武田薬品工業（株）より報酬・謝礼・原稿料などの受け入れ、日本医療研究開発機構委託研究開発費から研究班研究費の受託を受けている者がいるが、利益相反委員会にその内容を申告し、適正に管理されている。なお、これらの企業および研究費は、本研究とは直接関係がない。